

農民の皆様へ

吳省政府主席からの手紙

光復以來、本省では未だに四百萬の農民を對象とした讀物がなく、このため政府の政策とか、新しい農業生産技術とか、農村生活に必要な知識などを、早くしかも廣範圍にわたつて農民諸君に知らせる事が出来なかつた。ここに総合農復會とアメリカ新聞處が共同して「豐年」と云ふ月刊を發行したが、誠に農民たちの要求に叶つた讀物と云へる。「豐年」の内容は農村建設の各部門について書かれ、その文字も平易で、その

達はきつと「豐年」を必要とし、もつて知識を向上させ、又意見傳達にそれを利用する事が出来る。さて「豐年」の紙面をかりて諸君と少し話をしようと思ふ。

今日、臺灣農民の國家に對して負ふところの責任は非常に重大であつて、我が國の經濟復興の基礎を打立てるものは實に諸君である。また實際に於いて、諸君が既に、この偉大な使命をになつて、

諸君の偉大なる力を自覺せよ

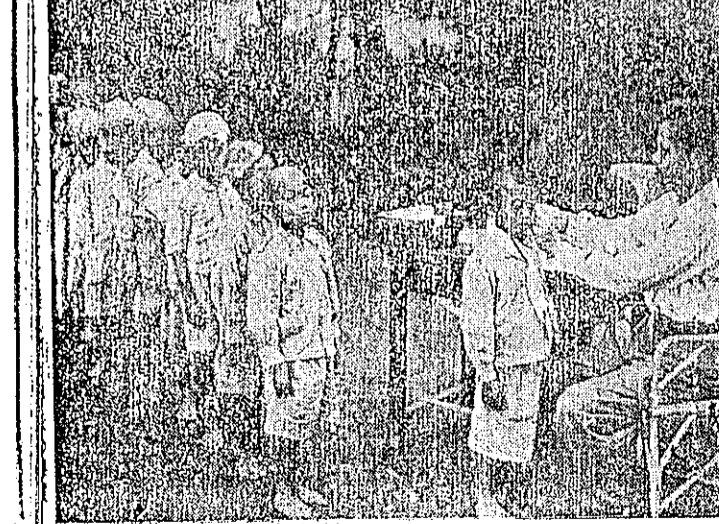
立派にやつて来た。諸君もきつとそれを非常な光榮と感じて居り、又喜んで居られる事と思ふ。政府としても、日頃常に諸君の並々なお苦勞にむくつて居る。農民の生活改善や、もつとよい生活環境を考へて居る。例へば毎年實行して来た「三七五」減租政策や、

公共衛生

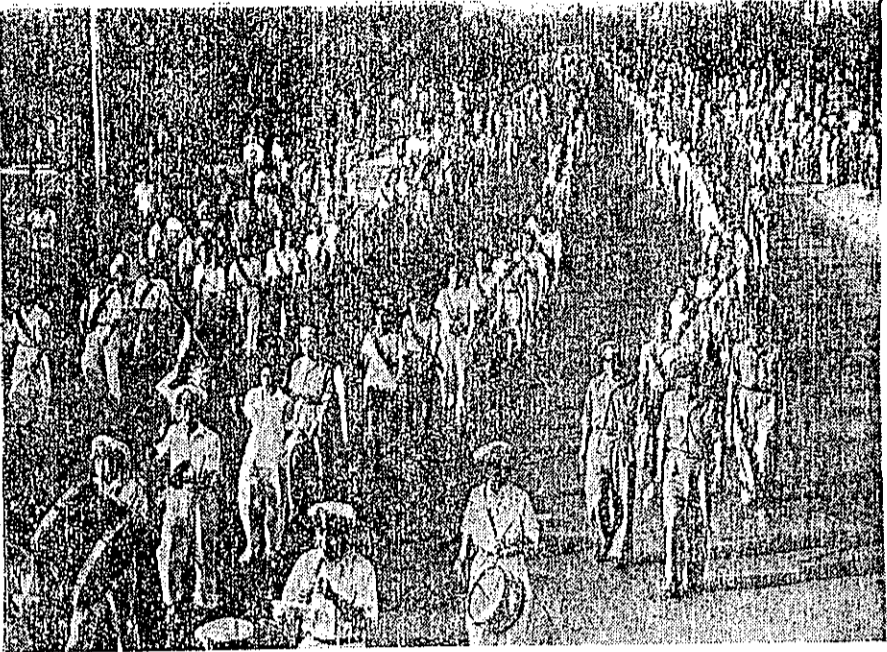
は農復會の主要な仕事の一つである。同會では學校衛生と學童健康増進のため、先き全省の國民學校に寄贈する三百八十七個の薬包を、目下臺北で開かれて暑期國民學校班にとどけた。講習を終へた教員は各自これ等の薬包を原校に持ち歸ることになつてゐる。この薬包の中には、マラリア

三農復會から國民學校へ藥品寄贈

三農復會から國民學校へ藥品寄贈



感激に満ちた晴れの入營



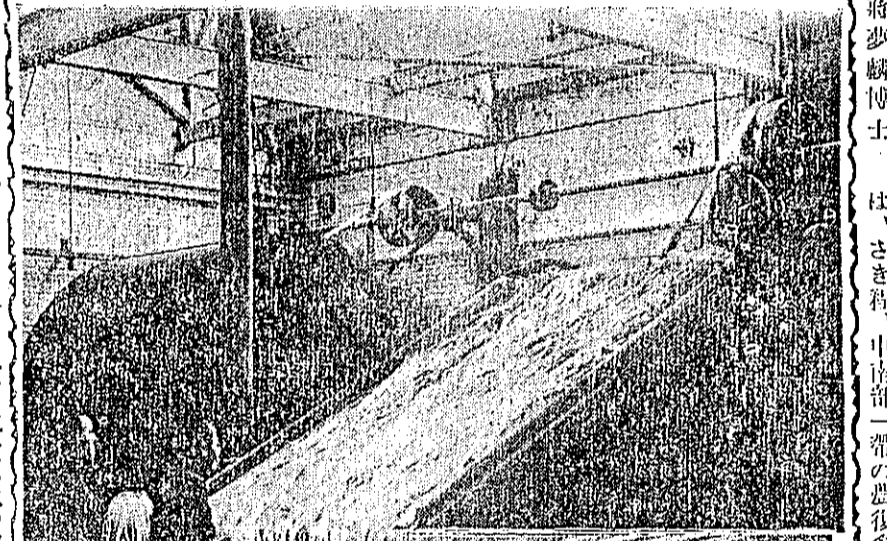
歩武堂々と臺北市街を行進する應召兵

本省では去る八月十日から徵兵を開始して以來、各地の應召兵はそれと前後して入營した。其の情況は非常に熱烈であつて空前の盛況を呈し、全省を挙げて何かの大きな祝ひ事をして居るやうだ。愛國の至情が到る處に流れ、一層反共抗ソの決心を堅くした。

精洗麻の買上價格

1疋=2圓50錢

黄麻收購督導委員會では八月十一日から黄麻の買上げを開始したが



（豐原紡織工場）

精洗麻の買上價格

黄麻收購督導委員會では八月十一日から黄麻の買上げを開始したが

寫眞説明

上：紡織工場の梳麻状況

下：出来上つた麻袋を包装して居るところ

解決を待つ三つの農村問題

農復會主任委員蔣少麟博士

は、さき程、中南部一帯の農復會の工作狀態を視察して歸つて来たが、次の如く感想を述べた。「全省各地方の機構は農復會の經濟的及び技術的援助を受けてから、水利、衛生、育種、害蟲驅除、土地改革等の方面に非常な成果を挙げた。然し今後臺灣の農村問題として、ぜひ解決すべき事が三つある。即ち（一）農業と工業の配合問題、例へば砂糖、パイナップル罐詰、麻袋の増産の爲めには、これ等の作物を多く栽培する事が必要だが、農業と工業とがうまく配合されない限り、増産は望まれない。

（二）護林問題、臺灣の森林は大切に保護しないと、四、五十年後には、森林が無くなる恐れがあり、其のため大雨になると土が流されて河川をせき止め、水害を起しやすく、農村經濟が破壊される事になる。（三）人口問題、現在臺灣では出生率が死亡率より高く、その反對に食糧の増産には限度があるので、今の様な速度で人口が増加して行けば、將來食糧が足りなくなる恐れがあるから、産兒制限を行ふ必要があると思ふ。」